

第2学年 特別の教科 道徳 学習指導案

- 1 主 題 正しく判断し、相手の気持ちを考えて話そう 善悪の判断、自律、自由と責任 A- (1)
- 2 資料名 「何であかんのやろ」(ほほえみ)
- 3 ねらい
  - ・ インターネット端末を介して習得する情報の特徴を理解し、相手を傷つけるような不適切な言葉があることに気付くことができる。
  - ・ 何気なく言った言葉が人を傷つけてしまうことを知り、安易な言葉で誰かを傷つけないよう、人の気持ちを考えて行動する態度を身に付けさせる。
- 4 人権教育の内容 人間関係の活性化 3—(2)—ア
- 5 展開

学習活動	主な発問と予想される反応	指導上の留意点
1 インターネットで使われている言葉で知っていることについて発表する。  2 資料を読み、話の内容を確認する。  3 先生が強く注意した理由について考える。	○ 「インターネットで初めて知った言葉はありますか。」 ・ コメント、うざい、ヘイトスピーチ  ○ 「どうして、先生ははるかさんのことを強くちゅういしたのでしょうか。」 ・ 人を傷つける言葉だから。 ・ 動画でもふだんの生活でも言うてはいけないから。	○ インターネット上の言葉について関心を高める。  ○ 児童が理解しやすいよう、挿絵を手掛かりにしながら、丁寧に判読する。  ○ 「うざい」や「きしょい」という言葉に着目させ、どのような意味があるか尋ねる。 ○ 普段使っている言葉が相手を傷つける場合があることをおさえる。
心の中で先生に言い返すはるかさんはどのような気持ちでしょう。		
4 先生に言い返すはるかさんの気持ちについて考え、話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 何がだめだったのかわからない。</li> <li>・ ふだんみんなも言っている。</li> <li>・ 動画で大人たちが楽しそうに言っている。</li> <li>・ 動画の人はおこられていない。</li> </ul>	○ 注意をされているのに、素直になれないはるかさんの気持ちを考える。
はるかさんの気持ちはどうして晴れていくような気がしたのでしょうか。		
5 はるかさんの気持ちがどうして晴れていくような気がしたのかについて考え、話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人を傷つける言葉だとわかったから。</li> <li>・ 言っているいいことと悪いことを判断しないと、いけないことに気が付いたから。</li> <li>・ 何にも考えないで使った言葉を反省したから。</li> <li>・ けんちゃんにあやまろうと思えたから。</li> </ul>	○ さっちゃんからの言葉に注目させてからはるかさんの行動をふり返ることで、相手に言っている言葉なのかを一度立ち止まって考えることの大切さに気付かせたい。
6 今日の学習のふり返りを書く。	○ 「今日の学習のふり返りを書きましょう。」 ・ 動画で言っている言葉にながされないようにする。 ・ 人を大切にする言葉を使うようにする。	○ 今日の学習をふり返り、今後の日常生活に生かせるように伝える。

[別紙②]

ワークシート

「何であかんのやろ」 番 名前 ( )

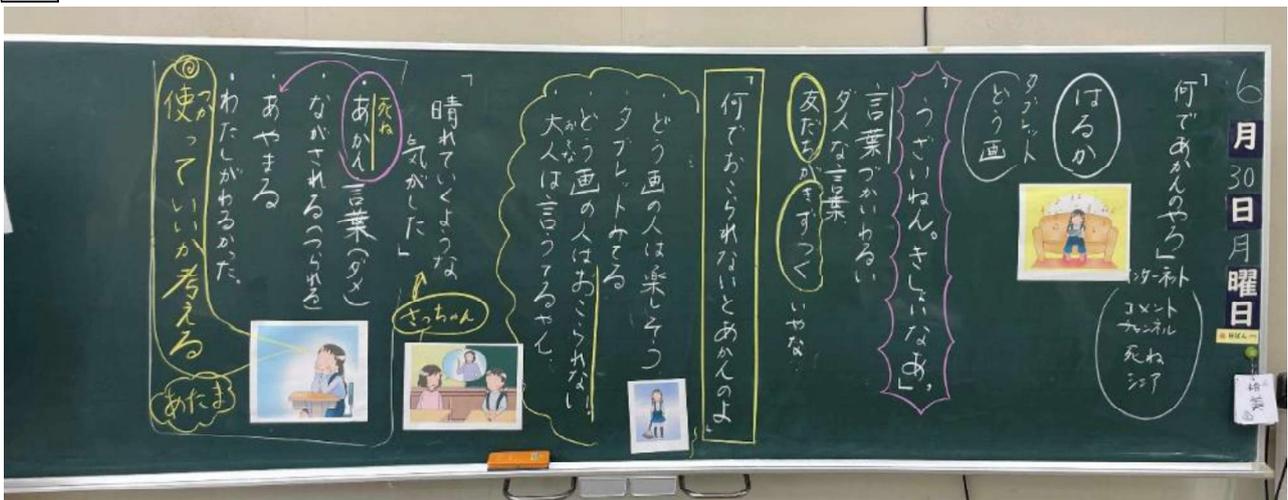
「心の中で「何でおこられないあかんのよ」と先生に言いかえずはるかさんは、どんな気持ちでしょう」

2 はるかさんはどうして「晴れていくような気がした」のでしょうか。

3 今日の学習で「わかったこと」  
(インターネット言葉づかい)を書きましょう。




板書



授業後の振り返り

- 自分が言っていやかどうか頭をつかって考える。きずつくことばは言わない。
- ことばはいっしゅんで人をきずつけることがわかった。これからはやさしいことばをつかいたい。
- 「うざい」とか「きしょい」とか、インターネットでしつたダメなことばはつかわない。ともだちをきずつけることばはつかわないようにする。
- タブレットがすきだからといって、すぐにまねをしないようにする。だめなことばはだめ。